

暑熱対策をしっかりと行いましょう！

東北地方も梅雨入りし、今後、厳しい暑さが予想されています。畜舎内では家畜の行動が制約され、涼しい場所を選ぶことができないことから適切な暑熱対策が必要となります。

暑さは家畜にとって大きなストレスとなり、採食量や乳量、増体量、受胎率が低下し、生産性を著しく低下させます。

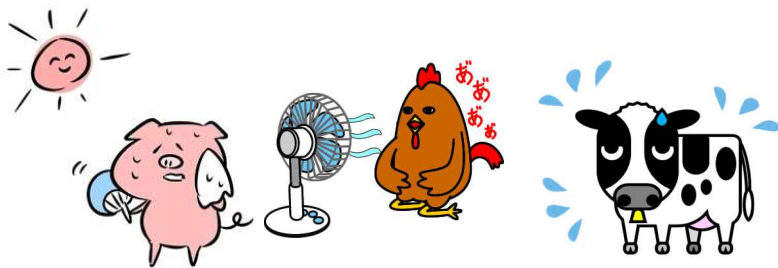
また、暑熱は日射病や熱射病等の事故につながりますので、しっかりと対策をしましょう。

畜舎への対策

- 畜舎作業中の体感から家畜の暑熱ストレスを想像する
- 温湿度計等を用いて畜舎環境の変化を数字で把握する
- 換気扇・扇風機・ポリダクト等を使って送風する
- 扇風機等と併せて細霧装置を使用する
- 遮光ネットやひさしで遮光する
- 畜舎内外(特に屋根)に散水・放水する
- 畜舎の屋根に石灰を塗布する



扇風機による送風



屋根への散水



屋根への石灰塗布

家畜への対策

- 密飼いをしない
- 新鮮な水を常に十分飲めるようにする
- 飼料は朝夕の涼しい時間帯に与える
- ビタミン、鉱塩などのミネラルを補給する
- 家畜の状態をよく観察する
- 畜体に散水をする



ミネラル補給



畜体への散水



新鮮な水の供与

日射病・熱射病の主な症状

- 食欲不振
- 開口呼吸
- 体温上昇
- 目や陰部等の粘膜の充血
- 呼吸促迫
- 脱水症状

これらの症状が見られたら、**早めに獣医師による治療を受けましょう**

牛農家の方は牧草の夏枯れへの対策も忘れずに！

- 刈取時は株枯れ防止と刈取後の再生を促すため刈取高さを10cm以上にする



左写真：チモシー。黄色の矢印は第1節の位置（8cm）。第1節より下で刈ると、高温乾燥により夏枯れしやすくなるため、10cm以上を目安に刈取する。

- 次年度に向けて、耐暑性や越夏性に優れた品種の利用や草種の混播によりリスク分散しましょう！

中央家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページ

青森県中央家畜保健衛生所

